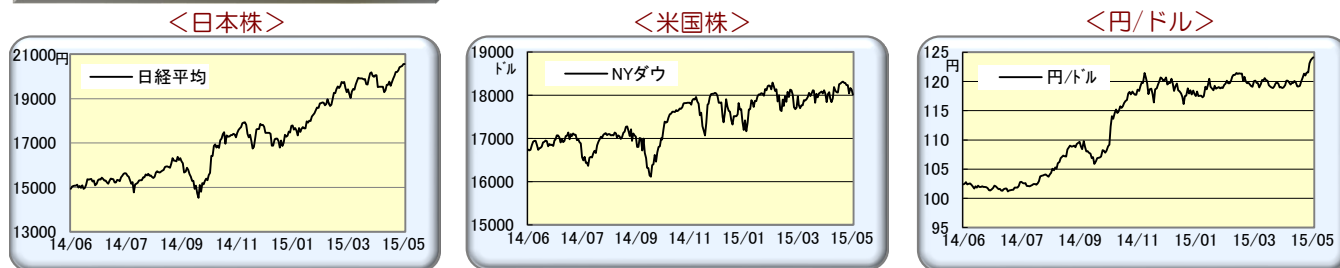


1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2014/12/31	2015/5/29	2015/5/29	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	17,450.77	20,563.15	20,563.15	20,655.33	2015/5/28	8,238.96	2012/6/4
NYダウ	ドル	17,823.07	18,010.68	18,010.68	18,351.36	2015/5/19	12,035.09	2012/6/4
円/ドル	円	119.78	124.15	124.15	124.46	2015/5/28	77.13	2012/9/13

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

~ 日経平均は、11日連続の年初来高値更新 ~

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が+298.74円 (+1.47%)、TOPIXが+25.8ポイント (+1.57%) となり、日経平均は11日連続の年初来高値更新となりました。業種別(東証33業種)にみると、ゴム製品、空運業、鉄鋼など25業種が上昇する一方、サービス業、証券・商品先物取引業、不動産業など8業種が下落しました。

週明け25日の日本株市場は、先々週末のイエレンFRB(米連邦準備理事会)議長の講演を背景とした米国での早期利上げ観測の高まりから円安ドル高が進行し、日経平均は20,400円台に上昇して始まりしました。その後もドル高が一段と進行する中、28日には日経平均は一時20,600円台にのせる場面もみられました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目		前回
6月1日	Mon	日本	設備投資(前年比)	1-3月期	2.8%
		米国	ISM製造業景況指数	5月	51.5
		中国	製造業PMI	5月	50.1
6月3日	Wed	米国	ページブック(地区連銀経済報告)		
			ADP雇用統計	5月	169千人
			貿易収支	4月	-514億 ^{ドル}
			ISM非製造業景況指数(総合)	5月	57.8
6月5日	Fri	日本	景気先行CI指数	4月	106.0
			景気一致CI指数	4月	109.2
		米国	非農業部門雇用者数変化	5月	223千人
			失業率	5月	5.4%
			国際	主要国首脳会議(G7サミットドイツのバイエルン州、8日まで)	

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

~ 円安ドル高を受けて底堅く推移するものの、ギリシャ債務問題の不透明感や米国雇用統計の発表を控え上値の重い展開 ~

今週の日本株市場は、ドル円が2002年12月以来となる124円台にのせるなど円安ドル高観測の高まりを背景に底堅く推移するものの、①今週末から多額の政府債務の返済期日が相次ぐギリシャ債務問題について、ほとんど進展がみられないこと、②米国において、FRBの利上げ開始時期を予想する上で重要なデータとなる雇用統計を含め、主要経済指標の発表が相次ぐことなどから、上値の重い展開を予想します。

その他注目材料としては、3日のページブック(米国)やECB(欧州中央銀行)政策理事会(欧州)、7日の主要国首脳会議(国際)が挙げられます。